

令和7年度

浜松市立和田小学校 第4回 学校運営協議会



令和8年1月15日(木)
午後1時40分～午後4時
視聴覚室にて

〈本日の日程〉

13:40～14:10 授業参観 ※ 御自由に御参観ください。

14:15～16:00 学校運営協議会

次第

※ 開催要件確認(委員の過半数の出席が必要です。)

1 会長挨拶

2 校長挨拶

3 議長の選出

4 前回会議録確認

5 熟議

(1) 授業についての意見交換 (10分)

(2) 令和8年度の学校運営について～2学期教育課程アンケート結果をもとに～

・ 教育課程アンケート結果・考察・改善策 (40分)

・ 改善策についての話し合い (20分)

6 その他

○ 学校支援活動について

○ 情報交換

7 連絡

○ 学校運営協議会の自己評価について

○ 次回の運営協議会の予定

・第5回 2月17日(火)

令和7年度 第3回学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年11月19日（水）14時20分から16時00分まで
- 2 開催場所 和田小学校 視聴覚室
- 3 出席委員 安藤 小ゆり、太田 優子、神谷みち子、齋藤 拓雄、鈴木 剛司
鈴木 三雄、早川 智美、林 實
- 4 欠席委員 なし
- 5 学校 横井 靖二（校長）、米山 由紀子（教頭）、中西 伸（主幹教諭）
小粥 万祐子（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 小粥 万祐子
- 8 会長挨拶
- 9 校長挨拶
- 10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、神谷委員を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。

11 前回会議録確認

12 協議事項

- (1) 授業参観をして
- (2) 子供たちのよいところ・課題（グループ協議Ⅰ（委員1～2名、職員3～4名））
- (3) 主体性を育むための具体的な手立てについて（グループ協議Ⅱ）
- (4) 熟議についての感想・意見交換

13 会議記録

司会の米山教頭より、委員総数8人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- (1) 会議前に行った授業参観をもとに、子供たちのよいところや課題について意見交換をした。
- (2) 子供たちのよいところ・課題（グループ協議Ⅰ）

○【1グループ：安藤委員・伊藤・松下】

- ・授業で自由に発言し合う姿が見られた。
- ・楽しいクラスを作るために自分たちにできることは何か考えることができる。
- ・活動をするときに動くことができること動くことができない子に2極化している。
- ・どのように主体的に活動したらよいのか方法が分かっていない。

○【2グループ：神谷委員・由季・平田・渡邊】

- ・進んで挨拶ができる。
- ・外で元気よく遊んでいる。外遊びが大好きである。
- ・学習に対して受動的なときがある。
- ・課題を頑張って進めるが、途中でやめてしまう姿が見られる。

○【3グループ：鈴木剛司会長・太田・澤根・吉政】

- ・体育の授業で、作戦をチームの仲間と意欲的に考える姿が見られた。
- ・下級生に優しく接することができる。
- ・自分で考えて行動することが難しい。
- ・失敗を恐れ、決められたパターンでしかできない様子が見られる。

○【4グループ：太田委員・早川委員・戸澤・林・堀田】

- ・友達の意見を聞き、自分の考えを深めることができる。
- ・自分の役割を進んで行うことができる。
- ・自己主張が強くなってしまうことがある。

○【5グループ：齋藤委員・島・瀧口・馬塚】

- ・困っている子を助けてあげることができている。
- ・リコーダーの練習で教え合っている姿が見られた。
- ・一人で考えて意見をまとめている姿が見られた。
- ・最後までやりきることができない子がいる。

○【6グループ：鈴木三雄委員・真田・一ノ瀬・大石】

- ・授業で、手を挙げて声を出して先生の質問に答えている姿が見られた。
- ・自分の仕事を責任もって行うことができている。
- ・授業と違うことをしている児童が見られた。
- ・言われたことを素直にやるが、自分で改善できる子は少ない。

○【7グループ：林委員・岡本・澤柳・明日佳・石川】

- ・授業にまじめに取り組んでいる。
- ・集団の目標に向かって自ら努力することができる。
- ・読書習慣が少ないかもしれない。
- ・すべてのことにおいて、自分事として考え発言したり、行動したりする子とそうでない子の個人差が大きい。

(3)主体性を育むための具体的な手立て（グループ協議Ⅱ）

○【1グループ：安藤委員・伊藤・松下】

- ・主体的に活動するとは、どういうことなのか、子供も先生も一緒に話し合う。
- ・子供たちに成功体験を積ませる。（自分の役割・活躍できる場を与える。）
- ・チャレンジできる場を作り、目標を立てて挑戦させ、成功体験を積ませる。
- ・ルールの意義も考えていく。

○【2グループ：神谷委員・由季・平田・渡邊】

- ・学習では、興味をひく導入をする。目標の明確化をする。
- ・一人一人をしっかりと観察し、適切な声掛けをしていく。ほめていく。
- ・ぴかぴかチェックを見直して、生活習慣の改善を図る。

○【3グループ：鈴木剛司会長・太田・澤根・吉政】

- ・学習内容を子供たちの興味・関心のあるものにする。また、個々のレベルに合った内容の工夫をする。
- ・失敗を恐れて進めない子もいるので、失敗をしていい場所という環境作りをする。
- ・「ほめて伸ばす」をベースにメリハリのある指導をする。

○【4グループ：太田委員・早川委員・戸澤・林・堀田】

- ・失敗しても大丈夫という雰囲気づくりをする。
- ・課外活動は意欲的に取り組めているので、自分たちのクラス・学校をよりよくしていくという自主的な活動を取り入れていく。（学年集会や学級会など自分たちで考える機会を作る。）
- ・子供が安心を感じられる学級づくりをする。
- ・子供が達成感や成功体験ができるように教員がサポートする。

○【5グループ：齋藤委員・島・瀧口・馬塚】

- ・学習ツール（タブレット・スプレッドシートなど）の活用をして、子供たちのモチベーションを上げることが出来る工夫をしていく。
- ・自主的な活動を取り入れていく。クラス全員が学級に参画できるようにする。
- ・個のよさを認める場をつくる。
- ・安全に気を付けることができない現状→子供が実体験を話し合うことができる機会をつくる。
- ・目標を立てて、達成できる喜びを味わわせる。（サポートをして、絶対達成することができるようになる。）

○【6グループ：鈴木三雄委員・真田・一ノ瀬・大石】

- ・教えるべきこと、しつけなど、基礎基本の徹底をする。
- ・思いやりのある行動をさせる。相手の発言を静かに聞くことができるようにする。
- ・大人が、子供のよい表れを認めていく。

○【7グループ：林委員・岡本・澤柳・明日佳・石川】

- ・家庭と連携をしていく。
- ・地域全体で見守る積極的な声掛けをしていく。
- ・休日の活用をしていく。

(4)前半の熟議について感想・意見交換

- ・我々委員も先生方も見ている点や思いが同じで心強く感じた。（神谷委員・鈴木委員）
- ・子供の貧困が進んでいて、子供の二極化（色々な体験が出来る子と出来ない子の格差）が進んでいる。失敗も含め、様々な体験をする事で自己肯定感を育む事が大事なので、民生委員の私たちも、何かサポートできる事はないか、と感じた。（安藤委員）

- ・考え方が小さくまとまっている子が多い反面、できる子はどんどんモチベーションも上がり、なんでもできる。できない子を、どのようにしていってあげたらよいのか考えた
(鈴木委員)
- ・低学年のうちに、ルール・マナー、基本的な事を身に付ける事が大事だと思う。大切なことは、大きくなっても変わらず、続いていく。いじめが、2年生をピークに下がっていくのは2年生ぐらいに善悪の判断がついてくるからという記事を読んだことがある。善悪の判断を教える場については、学校はもちろん必要だが、まずは家庭教育が大事だと思う。
(鈴木委員)
- ・小学生に主体性は難しいのでは、と思ったが、斬新でいいなと感じた。
(齋藤委員)

14 その他

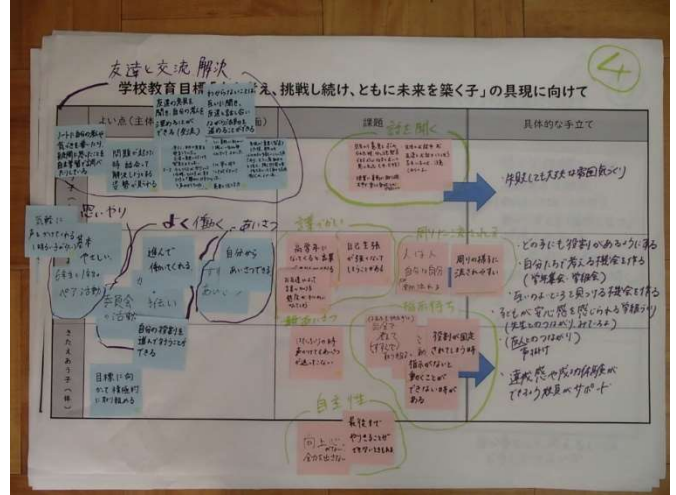
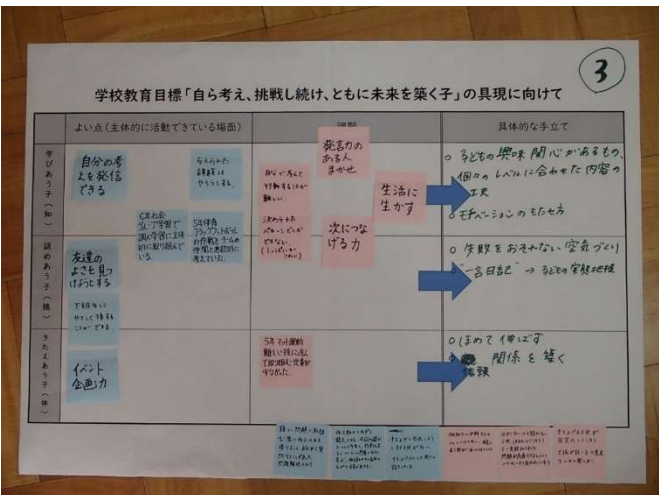
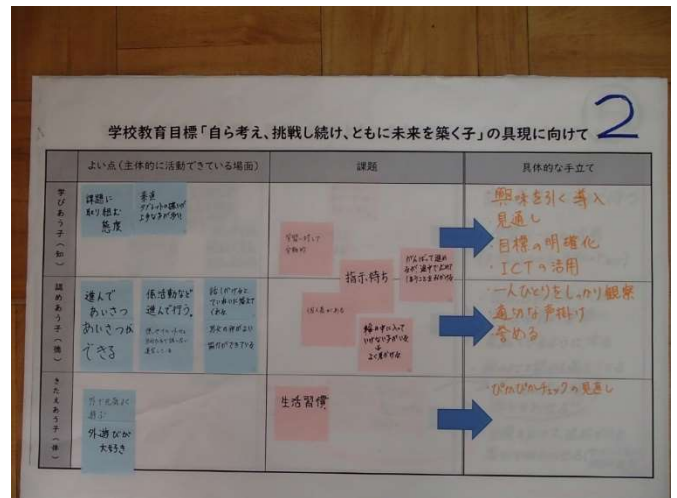
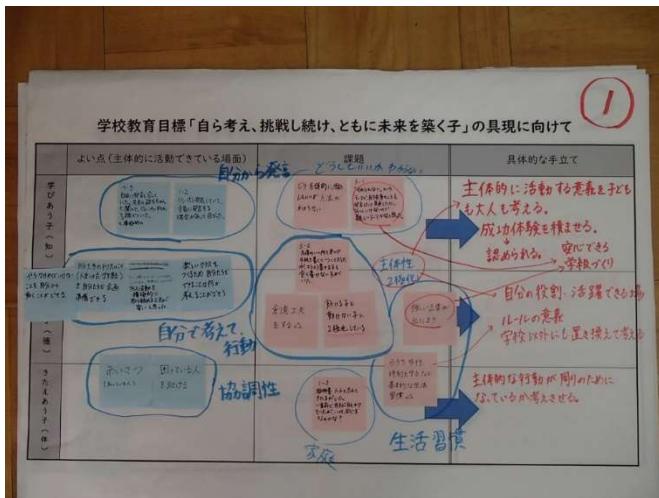
◎学校支援活動について

- ・神谷委員より令和7年度2学期前半のボランティア実施状況の報告があった。

◎諸連絡

- ・次回の学校運営協議会は令和8年1月15日(木)に開催するとの報告があった。

以上



⑤

	よい点(主体的に活動できている場面)	課題	具体的な手立て
学びあう(手組)	自主学習の おもしろさを 感じてもら います。 発表 実験などの 材料の準備 使った グループ取 り組んで考え を伝え合う活	課題 1. 自主学 習の楽し さや、 グループ での活動 の楽しさ を伝える 人に伝え 発表を志 める	・ 聞く姿勢になるまで待つ → 学習ツールの活用 (スプレッドシート、タブレット等)
認めあう(手組)	出ているよ と認めて あげられる リソースの 活用・教え合 う活動 自主学習の おもしろさを 感じてもら います。 発表活動が 仕事に感じ られること をわかって いる	自主学習の おもしろさを 伝える 安全に 関わら れない	・ 自治活動を取り入れ クラス全員が学級に 参画できるようにする → 個別のよさを認め合う場をつくる ・ ことしは友だちを 交し合わせる → 目標を立てて、達成できる 喜ばしめ合わせる(サポートを 認知達成)
きかえあう(手組)	発表活動が 仕事に感じ られること をわかって いる	自主学習の おもしろさを 伝える 安全に 関わら れない	

⑥

[illegible]

自分事として考えるには、
どうしてよいのか...

⑦

	よい点(主体的に活動できている場面)	課題	具体的な手立て
学びあう子(和)	学習のやりとりを 自分の学びの場 とし、他の子の学び の場、活動の場と もなすことが できた	学習のやりとり が継続し 学習意欲が 高まり、学び の場が広がる	家庭と連携を 呼びかけ
親の あう子 (機)	学習会 の場での やりとり が活発 になり、 活動の場 も広がる	学習意欲が 高まり、学び の場が広がる	地域全体で 見守る積極的 な声かけ
きこえ あう子 (体)	学習のやりとりを 自分の学びの場 とし、他の子の学び の場、活動の場と もなすことが できた	学習のやりとり が継続し 学習意欲が 高まり、学び の場が広がる	休日の活用



令和8年度 浜松市立和田小学校 グランドデザイン

学習指導要領

- 資質・能力の3つの柱
- カリキュラム・マネジメント
- 社会に関わった教育課程
- 「令和の日本型学校教育」の構築

第4次浜松市教育総合計画

- 目指すこどもの姿
- 自分らしさを大切にすることも
- 他者と協働し、主体的に行動することも
- 自己調整しながら、粘り強く取り組むことも

和田小学校の児童の実態

- よいところ
- 明るく素直で元気
- 思いやりがある
- 何事にも一生懸命に取り組む
- ◆改善したいところ
- 主体性 ●粘り強さ
- 意思の判断がつかないことがある
- けじめがつけられないことがある

自主 学習 創造

児童中学校区を目指すこども像

- 自分らしさを大切に、互いを尊重しあうことも
- 他者と協働しながら、人々の幸せや地域のために貢献することも
- 強く夢や未来の実現に向けて自己調整しながら、粘り強く取り組むことも

和田小の目指すこどもの姿

- 主体的に考え、自分で判断し、正しい行動ができる
- 自分の課題をもち、最後まで粘り強く取り組む
- 自己調整しながら、問題をよりよく解決する
- 自分もまわりの人も大切に、思いやりある言動ができる
- 誰にでも明るく元気な挨拶ができる

特に増やしていきたい資質・能力

主体性 粘り強さ 積極意欲・判断力 コミュニケーション能力

学びあう子

認めあう子

きたえあう子

和田っ子宣言

進んで明るいあいさつをします
みんなて助け合います
みんなて思いやり、仲良くします

創立・開校150周年を機に制定

学校教育目標「自ら考え、挑戦し続け、ともに未来を築く子」

学校経営目標「一人一人の笑顔いっぱい夢いっぱいの学校」

こどもも職員も、一人一人が自分のよさを感じ、互いに寄り添い、認め合い、支え合い、励まし合いながら生き生きと活動することを通して自信を高め、夢や希望をふくらめることができる学校

今年度の重点：主体性の育成

スローガン：「一人一人が主人公、自分の物語を創り出そう！」

キャリア教育の推進

【人とかわる力】 【学びを深める力】

（人間関係形成・社会形成能力）
（課題対応能力）

【自分を育てる力】 【未来につなげる力】

（自己理解・自己管理能力）
（キャリアプランニング能力）

知



<授業改善の推進>

- 基礎基本の確実な定着
- 育成したい資質・能力と児童の実態を踏まえたカリキュラム・マネジメントと単元構成
- こどもの主体性を育む探究学習
- 個別最適な指導と協働的な学びの一体的な充実
- ICTの活用と家庭学習との関連
- <発達支援教育等の充実>
- 児童理解と心のニーズに応じた指導

徳



<心の教育の推進>

- 道徳教育の充実
- 他者との関わり方を学ぶ「心の日」の設定
- 異学年集団による活動
- <生徒指導の充実>
- ほめて伸ばす指導や気持ちよく寄り添う相談・指導
- 組織的な取り組みによるいじめの未然防止・早期発見、解決

体



<体力の向上>

- 自ら体を動かすことを楽しみ、進んで体力向上に努める力を育てる指導や機会の充実
- <安全教育の推進>
- 自他への安全を大切にできる指導
- 様々な場面に対応する力の育成（交通・防犯・災害）
- <健康教育・食育の推進>
- 生活習慣の見直しと改善

学習の基盤となる資質・能力の育成

言語能力

情報活用能力（ICTの活用）

問題発見・解決能力

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）



PDCAサイクルが機能し、社会に関わった教育課程

<目指す教職員の姿>

- 子どもに寄り添い、子供理解に努める教職員
- 自己研鑽に努める教職員
- 粘り強く考え、動き、支え合う教職員（ワンチーム）
- 働き方を意識し、健康で元気に仕事をすすめる教職員

保護者や地域に信頼される学校づくりの実現